

# 読書のすすめ

土岐市図書館 ☎1253

## 題名が一文字の絵本



題名が漢字一文字という本は小説などに多くありますが、絵本には題名が平仮名一文字という本があるのです。

「どんなお話なんだろう」と不思議に思われる方も多いかも。ご紹介します。

・谷川俊太郎『あ』

ひとりぼっちの「あ」のところに「か」がやってくる、どんな言葉になるでしょう。「あ」とさまざまな平仮名の組み合わせでできる、言葉を楽しむ絵本です。最後のページでは、たくさんの平仮名と出会った「あ」の気持ち伝わってきます。

・大槻あかね『あ』

人の形をした針金が主人公の写真絵本です。文字は少ないですが写真を眺めていると、主人公と同じ気持ちになれるかもしれません。ゆっくりとページをめくりながら楽しんでほしい一冊です。

・長田弘『ん』

一文字だけでは「ん」は読み方にも戸惑ってしまう謎の文字。それでも「ん」はとても大切な文字なのです。ごほんに「ん」がなかったら？ ごめん「ん」がなかったら？ この絵本はぜひ声を出して読んでみてください。いろいろな「ん」が楽しめます。

## 私の一冊

小川 糸／著

### ライオンのおやつ



図書館ボランティア  
松村 葉子さん

#### 私の一冊 寄稿者募集

あなたのオススメの一冊を紹介しませんか。  
お気軽に問い合わせください。

『ライオンのおやつ』。思わず目を引く題名に興味津々。謎は、読めばすぐ解決です。幼い頃に両親を亡くした雫は、伯父を実父と信じ、仲良く暮らしていました。けれどもある複雑な事情で疎遠になってしまいました。不幸にも30代で癌になり、治療の甲斐なく、為す術のないまま余命宣告され、終の住処を求め訪れた、瀬戸内海に浮かぶ小さな島のホスピスで、思い出のおやつをリクエストして再現してもらいます。病を伯父に告げることができず、悩み続ける雫。再現してほしいおやつは、十二歳の時、伯父の誕生日に自ら作ったお菓子でした。そしてそのお菓子が奇跡を起こし、雫の心は救われます。家族だからこそ、生まれるさまざまな問題に苦しむ中、誰にもきつと心に残る輝く幸せがあることを再認識でき、今だからこそ、生き方を見つめ直すことができる、小川糸さんならではの素敵な本ですので、お薦めします。



## 6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土	開館時間
		1	2	3	4	5	火～金曜日 午前10時～午後7時
6	7	8	9	10	11	12	土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
13	14	15	16	17	18	19	※変更があった場合は、 図書館のHPやTwitter でお知らせします。
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

## お知らせ

### 【令和2年度に3歳児健診を受けられた皆様】

3歳児健診の際に図書館よりお配りした「ぶっくんノート」は自宅で絵本を読むなどして記入いただき、ノートがいっぱいになると、絵本を一冊プレゼントします。まだ、絵本をもらってない方、お待ちしています。